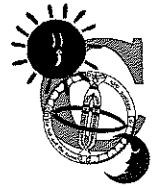


KSKQそよかぜ通信



NO. 207

E-mail:minoh-soyokaze@song.ocn.ne.jp

「不動心の気持ちを心の片隅に・・・」

2026 年 4 月の新年度を迎えて、はや一カ月程が過ぎようとしています。日頃そよかぜに携わって頂いている多くの関係者の皆様方には、この二～三ヶ月の間に起きたそよかぜにおける様々な出来事で、多大な心配や不安をおかけしてしまった事に対し改めて、新しくそよかぜの理事長のバトンを引き継いだ上村が深く謝罪させていただきます。誠に申し訳ございませんでした。

新しく理事長に就任したものの、この一カ月程、全くを持って自分自身が無知であること、世間知らず、更に自覚の無さを痛い程思い返させられました。

こんな私がそよかぜの理事長に就いて本当に大丈夫なのか・・・？

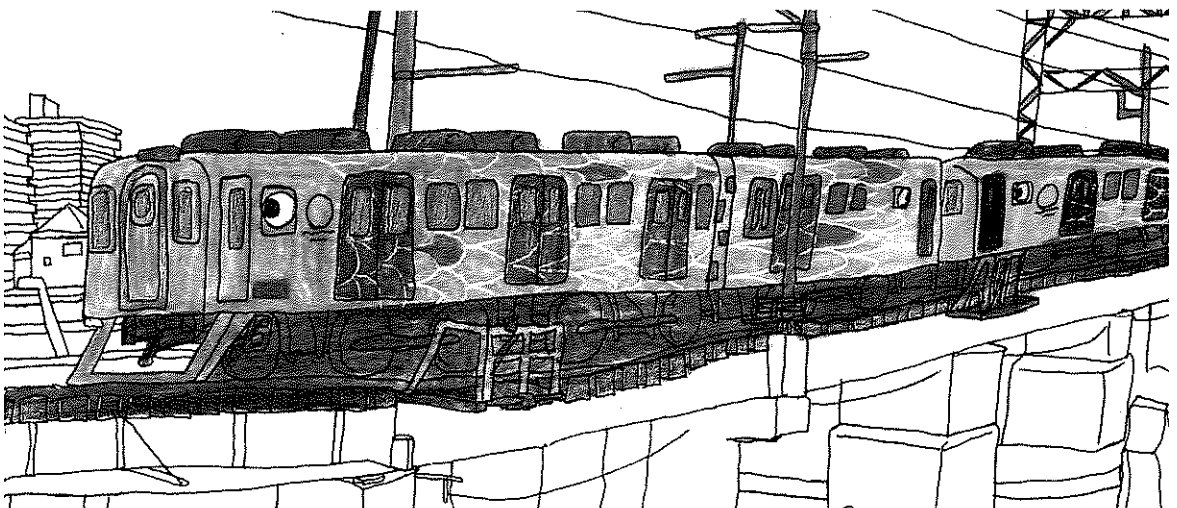
そよかぜの家を存続させる為に一枚岩となって頑張ってくれているそよかぜの職員さん達、常日頃、温かい目でそよかぜを支援してくださる多くの方々に申し訳ない気持ちでいっぱいになるばかりです。仕事が終わる自宅に帰って、ふと、自室にいると自分自身の不甲斐なさや自分に対しての情けなさで、目頭が熱くなり、もう少しで涙が出そうになるのをこらえることもしばしばあります。

「駄目だ駄目だ前向きにポジティブに考えないと」と自分に言い聞かせ、自分の思考を変えなくてはと思って、私の十八番である名言・格言探しが始まります。そして「不動心」という文字が目に入りました。

「不動心」とは・・・いかなる状況下でも心や感情を乱されることなく、平常心を保ち続ける精神状態で、逆境に立たされる場面で重視される概念だそうです。とはいえ、今の自分自身に全く持ち合わせていない心の状態なので、せめて私の心の片隅に「不動心という言葉」を忘れることのないようにと思っています。

でも、リアルな現実を日々、生きてみると、色々頼りになり助けてくれるのは大切なパートナーであったり、時には父親、そして最後に若くして闘病の末、他界してしまった私の母親です。私の母は、こんなどうしようもないドラ息子を亡くなる直前まで心配をして逝ってしまいました。時折、無償の愛情を与えてくれた母の面影を思い出しながら心の中で「おかん、ほんの少しでいいので物事がいい方向にいけるように見守ってなっ〜」と心の中で言葉としてつぶやいています。恥ずかしながら、今現在これが私の本当の姿です。今回のそよかぜ通信の私の寄稿で、そよかぜの新しい理事長は本当に大丈夫なのかなっ〜？と思われる方は少なからずいると思います。確かに私一人では何もできないのが私自身の現状です。ですが、これから、そよかぜの職員さん達と力を合わせて少しずつでいいので、一步一步、前に進んでいけるように頑張っていきますので、何卒、温かい目で見守って頂き、支援して頂けますよう宜しくお願い致します。

そよかぜの家 上村 真一



「そよかぜの家」と 繋がって・・・

初めまして僕は鈴木と申します。
今年度4月より、このそよかぜの家
でお世話になることとなりました。
ご挨拶と合わせて自己紹介をさせて
頂ければと思います。

この度は、共通の知り合いを通して
ここに來させて頂くことができまし
た。

僕自身、様々なリハビリ時期と経験
を経て、障がい福祉への道に進みま
した。これまで十数年障がい福祉の
中で日々を過ごしてきましたが、様
々な方と出会い別れを積み重ねて今
の自分があると思っています。そ
のご縁の中で今こうしてここに自分
は居るのだと改めて感じております
朝そよかぜに行くと、みな様からお
はようの挨拶から一日が始まります
とても心地よいスタートです。日中
それぞれの仕事をみな様で自身の
ペースで進めておられます。もくも
くと進められる方、早いペースで進
められる方、ゆっくり丁寧に進めら
れる方とみな様お仕事をされておら
れます。

昼食は僕も一緒にいただいております。
昼食後はゆっくりされ午後から
のお仕事が始まります。後半は疲れ
が出てこれながら最後までお仕
事をされておられます。夕方仕事
が終わり、挨拶をされ、帰られます。

日々のそよかぜの時間はこの様に過
ぎていっております。僕自身、まだ
まだ一ヶ月ほどしか経っていないの
ですが、そよかぜの家初日の挨拶か
ら始まり、みな様と共に時間を過
させていただいております。

先に言ったとおり障がい福祉に関わ
り十数年経ちますが、日々みな様か
ら様々なことを教えていただいてい
るように思います。挨拶や仕事に対
する姿勢、共に過ごしておられる方
への配慮や優しい声かけなど日々感
じております。

このような日々の中で過ごしていけ
るよう、そよかぜの一人としてみな
様と共に歩んでいきたいと思ってい
ます。

これから、様々な方々とお会いし繋
がり会えることを願っております。
で、どうか宜しくお願いいたします。

鈴木 悠介

「そこにある意味」

いろんなところで、いつのまにか
お店がなくなつて空き地になり、新
しいお店ができて風景が変わってい
たりする。

毎日通る道だと「なにができるのだ
ろう?」と気になったりするし、気
に入っていたお店なら残念にも思っ
けど、また違うお気に入りを見つけ
る。そう、日々いろんなものの変
わって行く。目まぐるしく変わってい

くこの時代に、絶対に変わらないも
のではないのかもしれない。当たり前
にあったものが、突然無くなってい
ることなんて、ざらにあるだろう。
そうなるまでにはたくさんの方の
が、問題があつて、解決でき
ないことが増えて、行き詰つて、無
くなつてしまつたのかもしれない。
それには、たくさんの方の励ましや努力
や思いがあつても、どうにもならな
いことだつたのかもしれない。

でも、みんなの「この場所」は簡単
になくなつてはいけな場所だと思
つていて。

当たり前に朝に來て、仕事をして
ご飯を食べて、仕事して、帰ってい
く。当たり前のいつもの人たちが、
いつもの会話で、いつもの笑顔で過
ごしていく。

いろんな人の、いろんなルーティン。
いろんな人の、いろんな挨拶。
いろんな人の、いろんなこだわり。

そんな、いろんな人たちが集まっ
て「そよかぜの家」を作っている。
みんなの居場所として。

この当たり前の日常を送る場所とし
て「そよかぜの家」が必要だと思つ
ている人たちがいて、この当たり前
の風景を見守つてくれている人たち
がいるのなら、この場所であり続け
る意味はあるのだらうと思う。

私たちは、「そよかぜの家」を居場所
として必要としている人たちの為に
その思いにできる限り応えていき
たい。

保田 かおり

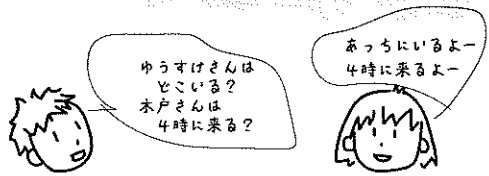
今年4月より、夕方のドライバー
のみお仕事をさせていただいている木
戸と申します。

今までの仕事に一区切りつけて、こ
れからの50代を何の為に役に立て
るか、模索中ではありますが、純粋
で人懐っこい利用者さんと接して、
心の和らぎを感じることが多く、新
しい経験をさせていただく貴重な環
境だと思っています。

まだまだ利用者さんのことは把握
できていないですし、今までそよか
ぜを運営されてこられたスタッフの
皆様には頭が下がるばかりですが、
可能な限りお手伝いできればと思
いますので、よろしくお願いいたしま
す。

木戸

そよかぜの家にいつもの人がいないと、
「～さんは?どこにいる?」
と聞いてくるメンバーさんたち。
いつもの顔がいないと、とっても気になります。
鈴木さんも木戸さんも、いつもの時間に姿が見
えないと、皆聞いてきます。
しっかりと、そよかぜの家の人です。



会員募集のお願い

特定非営利活動法人そよかぜは、地域の障害者に対して自立と社会参加と就労に関する事業を行い支援することにより、障害者の完全な社会参加と平等を求め、すべての差別を拒否し平和で人権と環境に守られた街づくりを推進することを目的とし、障害者はあらゆる場で対等であることを求めるとともに地域社会で働き、暮らす、社会の一員であることを求め活動する団体です。

特定非営利活動法人そよかぜは、上記の目的を達成するために下記の事業を行います。

- 1. 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業及び地域
活支援事業
- 2. 経済的自立を支援するためのその他事業
- 3. 地域での各種イベントへの参加など交流事業
- 4. 各号に附帯・関連する一切の事業

以上の目的及び事業内容に賛同・賛助いただける方を会員として求めています。
ぜひ、私たちの事業内容に賛同・賛助し、入会していただけますようお願いいたします。
お申し込み方法：別紙入会申込書をご記入のうえ、郵送または FAX にて送付していただくか、直接そよかぜ
まで、お申し込みください。

特定非営利活動法人そよかぜ 入会申込書

「特定非営利活動法人 そよかぜ」は、障害者の完全な社会参加と平等を求め、地域社会で暮らし、働くことを推進する団体です。

特定非営利活動法人 そよかぜ（以下そよかぜという）に下記の賛助会員として入会します。

- 1. 団体賛助会員・・・そよかぜ事業・活動に賛助して、加入する法人及び任意団体。 総会での議決権がありません。
「入会金： 0 円 年会費：1,200 円（1 口）」
- 2. 個人賛助会員・・・そよかぜ事業・活動に賛助して、加入する個人。 総会での議決権がありません。
「入会金： 0 円 年会費：1,200 円（1 口）」

下記の表にご記入ください。（会員の箇所は丸をつけてください。）

会員名	団体賛助会員		個人賛助会員	
(フリガナ) 団体・法人名			(フリガナ) 代表者名	
(フリガナ) 個人氏名				
住所	〒(-)			
電話番号			FAX 番号	
所属団体				
入会申込み年月日	年 月 日 [口数]		□ ￥	
入金方法	どちらかに○をつけてください		※ 領収証発行日	年 月 日
	振込み	現金		
※ 会員番号			※ 領収証発行者印	

※は記入しないでください

会費振込先・・・郵便振替口座 0 0 9 8 0 - 3 2 8 3 3 3 特定非営利活動法人そよかぜ

特定非営利活動法人そよかぜ
〒562-0043 大阪府箕面市桜井 3 丁目 8-2 南山閣江口ビル 103・104
電話：0 7 2 - 7 2 2 - 6 1 6 1 FAX：0 7 2 - 7 2 2 - 4 8 7 6

長年続いた陶芸事業が今年の3月で終わりとなりました。続けてほしいというお声もたくさんお聞きしましたが、陶芸事業を引継ぎしていなかったため、継続は難しいと判断いたしました。陶芸に携わっていただいた方々、今までありがとうございました。これからも、そよかぜの家のメンバーさんたちはいろんな作業をして頑張っています。

パン・クッキー販売事業

みのおライフプラザや学校等の施設などでの移動販売や個人宅などにはいたっています。



みのおライフプラザ清掃作業

建物内の指定された場所のごみを回収して、回収したごみの分別(缶・瓶・ペットボトル・可燃ごみ・不燃ごみ等)作業です。



箕面市指定ゴミ袋成体作業

10枚1組をセットにした袋をシーラーで圧着し40袋を箱に詰めていく作業です。いくつかの作業工程を経て仕上がります。



ペットボトル選別業務

月に約4回のペースで、箕面市環境クリーンセンターにて箕面市民等が排出するペットボトルに混入する異物を除去する仕事です。適正に再資源できる様になります。



ファッションアイテムのお店 生活雑貨のお店 リサイクルショップ「KAZE」



オリジナル事業

- ・ノベルティ・注文制作
- ・そよかぜの家オリジナルカレンダー



図書本修理作業

図書館資料を指示された頁の外れや破れなどを補修したり、落書きを消すなどの作業。また、ブックカバーの装着作業をする仕事です。

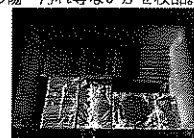
箕面市管理住宅施設の清掃

週に1回、マンションの1室(共有スペース)と廊下や階段、外溝、ゴミ捨て場等を清掃します。植込みの水やりや落ち葉の掃除も季節ごとに対応します。



本の検品・クリーニング・梱包作業

週に2回、箱に詰められた古本を表題ごとに価格を計算して本の傷・汚れ等ないかを検品。カバーのラベルを剥がして、アルコールで拭ききれいにします。指示された冊数ごとに梱包していきます。



メンバーさんたちが描いたイラストがTシャツやbagにプリントや刺繍をして商品化。マスコットも作っています。

編集後記

もう5月…。

今年の梅雨は長い?夏の気温はどうなるのかしら?と考える時期になりました。皆様におかれましては、体調を崩されることなくお過ごしでしょうか?

私は、「花見」をすることなくもう5月…。仕事に追われた、3月、4月…。

年齢を重ねることに早く過ぎていく月日のなか、今年の1月からの月日の経過は年齢の感覚を上回るほど一瞬だった。THE自分で何をしているのかわからない状態。

これぞ、望んでいない「働いて、働いて、働いて参ります」状態。

でも、その中で送迎時にメンバーさんと車窓越しに見た「八重桜」はきれいでした。

私:「わー、見て!八重がきれいよー」

メンバーさん1:「ほんまやな」…ホントに思ってる?

メンバーさん2:「ほんとにきれいですね」…うん、うん、きれいだね。

そんな、ひとコマのやり取りに癒されています。

さて、今号は会員募集のお願いを載せております。

今号は頁数が少なくなって申し訳ありません。通信を楽しみにしている方の為に引き続き「そよかぜの家」の活動の様子はお伝えしていきますので、これからの「そよかぜの家」を応援していただけたら、嬉しいです。

保田

